

平成 22 年度
第 3 回宗像市渡船事業運営審議会

参考資料

平成 22 年 9 月 28 日

目次

1	航路の再編に伴う渡船事業の全体収支について	1
	宗像市 渡船事業全体収支表（第1案）	1
	別紙 航路損益見込資料（大島航路、地島航路）	2
2	渡船事業における割引サービスについて	4
1.	宗像市での現在の割引状況とその収入内訳	4
2.	全国での割引サービスの現状	4
3.	宗像市で今後適用が考えられる割引サービスについて	5
4.	渡船事業における割引等の参考事例	7

	大島の現状航路損益 (平成20年10月～平成21年9月)	地島の現状航路損益 (平成20年10月～平成21年9月)	現状の合計 (A)	大島の航路損益試算 (新ダイヤ)	地島の航路損益試算 (新ダイヤ)	試算上の合計 (B)	差分 (B－A)	備考
1. 収 益								
A 運 航 収 益	138,937,934	23,472,384	162,410,318	145,972,929	25,774,899	171,747,828	9,337,510	
1. 旅客運賃	88,100,980	21,139,190	109,240,170	95,135,975	23,441,705	118,577,680	9,337,510	別紙参照（大島：500円→550円、地島：新運賃）
2. 手荷物運賃	1,543,630	1,040,150	2,583,780	1,543,630	1,040,150	2,583,780	-	
3. 小荷物運賃	2,668,400	58,900	2,727,300	2,668,400	58,900	2,727,300	-	
4. 自動車運送運賃	40,345,950		40,345,950	40,345,950		40,345,950	-	
5. 貨物運賃	3,954,460	1,039,800	4,994,260	3,954,460	1,039,800	4,994,260	-	
6. 郵便航送料	1,542,540	194,344	1,736,884	1,542,540	194,344	1,736,884	-	
7. 雑収	781,974		781,974	781,974		781,974	-	
B 営 業 収 益	716,415	8,510	724,925	716,415	8,510	724,925	-	
1. 航路付属施設収入	256,510		256,510	256,510		256,510	-	
2. 雑収入	459,905	8,510	468,415	459,905	8,510	468,415	-	
収 益 計	139,654,349	23,480,894	163,135,243	146,689,344	25,783,409	172,472,753	9,337,510	収入増額分 約933万
2. 費 用			-			-	-	
A 運 航 費 用	150,398,954	64,042,981	214,441,935	121,661,070	76,938,091	198,599,161	-15,842,774	
1. 旅客費	2,529,515	425,828	2,955,343	2,529,515	425,828	2,955,343	-	
(1) 旅客歩金			-			-	-	
(2) 傷害保険料	912,715	262,343	1,175,058	912,715	262,343	1,175,058	-	
(3) 雑費	1,616,800	163,485	1,780,285	1,616,800	163,485	1,780,285	-	
2. 手荷物取扱費	62,871	0	62,871	62,871	0	62,871	-	
3. 小荷物取扱費	13,268	0	13,268	13,268	0	13,268	-	
4. 自動車運送取扱費	250,265	0	250,265	250,265	0	250,265	-	
5. 貨物費	13,268	0	13,268	13,268	0	13,268	-	
(1) 貨物積卸費	13,268		13,268	13,268		13,268	-	
(2) 貨物歩金			-			-	-	
(3) 貨物辯金			-			-	-	
(4) 雑費			-			-	-	
6. 郵便物取扱費	0	0	-	0	0	-	-	
7. 燃料潤滑油費	28,158,630	9,481,856	37,640,486	23,411,661	12,985,711	36,397,372	-1,243,114	新ダイヤでの2島への各船舶の運航により算出
8. 養缶水費	0	0	-	0	0	-	-	(大島：おおしま4、しおかぜ2、じのしま1)
9. 港費	6,037,670	186,150	6,223,820	5,571,580	0	5,571,580	-652,240	(地島：しおかぜ2、じのしま4)
(1) 税金及び手数料			-			-	-	
(2) 水先及び係留料手数料	6,037,670	186,150	6,223,820	5,571,580	0	5,571,580	-652,240	大島航路分は、おおしまの運行回数減少分、係船
(3) 代理店手数料			-			-	-	料を削減。地島航路分は全額削減可能
10. 雑費	105,318	26,690	132,008	105,318	26,690	132,008	-	
11. 船費	113,228,149	53,922,457	167,150,606	89,703,324	63,499,862	153,203,186	-13,947,420	
(1) 船員費	79,166,158	38,115,166	117,281,324	55,641,333	47,692,571	103,333,904	-13,947,420	試算合計を7:6に仮配分、船員14人
(2) 船舶備品費	0	134,400	134,400	0	134,400	134,400	-	
(3) 船舶消耗品費	1,067,054	216,396	1,283,450	1,067,054	216,396	1,283,450	-	
(4) 船舶修繕費	32,344,967	15,381,450	47,726,417	32,344,967	15,381,450	47,726,417	-	
(5) 雑費	649,970	75,045	725,015	649,970	75,045	725,015	-	
B 営 業 費 用	123,033,488	31,686,627	154,720,115	123,242,473	24,795,678	148,038,151	-6,681,964	
1. 保険料	1,341,378	500,595	1,841,973	1,341,378	500,595	1,841,973	-	
(1) 船舶	1,341,378	500,595	1,841,973	1,341,378	500,595	1,841,973	-	
(2) 航路付属施設			-			-	-	
2. 税金	4,468,939	621,943	5,090,882	4,694,059	621,943	5,316,002	225,120	
(1) 船舶			-			-	-	
(2) 航路付属施設			-			-	-	
(3) 事業税	4,468,939	621,943	5,090,882	4,694,059	621,943	5,316,002	225,120	
3. 利子	4,621,557	900,685	5,522,242	4,621,557	900,685	5,522,242	-	
(1) 船舶	2,500,664	900,685	3,401,349	2,500,664	900,685	3,401,349	-	
(2) 航路付属施設	2,120,893		2,120,893	2,120,893		2,120,893	-	
4. 減価償却費	71,188,210	11,888,855	83,077,065	71,188,210	5,142,927	76,331,137	-6,745,928	
(1) 航路開設費	601,718		601,718	601,718		601,718	-	
(2) 船舶	70,130,932	11,564,463	81,695,395	70,130,932	4,818,535	74,949,467	-6,745,928	じのしまの減価償却費が償却最終年に伴い、減額
(3) 航路付属施設	455,560	324,392	779,952	455,560	324,392	779,952	-	
5. 賃借（備船）料	1,434,160	0	1,434,160	1,418,025	0	1,418,025	-16,135	
(1) 船舶			-			-	-	
(2) 航路付属施設	1,434,160		1,434,160	1,418,025		1,418,025	-16,135	新ダイヤでの大島港浮桟橋・可動橋使用料を算出
6. 航路付属施設費	19,974,728	614,259	20,588,987	19,974,728	469,238	20,443,966	-145,021	地島航路分を鐘崎待合所の経費分削減
7. 店費	20,004,516	17,160,290	37,164,806	20,004,516	17,160,290	37,164,806	-	
費 用 計	273,432,442	95,729,608	369,162,050	244,903,543	101,733,769	346,637,312	-22,524,738	削減額 約2252万
3. 差引当期（純損失）	△ 133,778,093	△ 72,248,714	-206,026,807	△ 98,214,199	△ 75,950,360	-174,164,559		

1. 収益

A 運 航 収 益 (旅客運賃+貨物運賃+雑収入)

1. 旅客運賃

(1) - 1 普通運賃

区 間	実績(人)	調整率(%)	見込(年/人)	運賃(円)	金額(円)
大島～神湊 (片)	67,605	0.00%	0	550	37,182,475
大島～神湊 (往・神湊)	23,700	0.00%	0	480	11,376,000
大島～神湊 (往・大島)	31,182	0.00%	0	550	17,150,100
計	122,487	0.00%	0		65,708,575

(2) - 1 定期運賃

区 間	区 分	実績(枚)	調整率(%)	見込(年/枚)	運賃(円)	金額(円)
大島～神湊	学生	89	0.00%	0	12,240	1,089,360
大島～神湊	一般	391	0.00%	0	18,350	7,174,850
計		480		0		8,264,210

(3) - 1 団体運賃

区 間	実績(人)	調整率(%)	見込(年/人)	運賃(円)	金額(円)
大島～神湊 (1割引)	4,982.0	0.00%	0	550円の1割引	2,466,090
大島～神湊 (3割引)	2,200.0	0.00%	0	550円の3割引	847,000
計	7,182.0	0.00%	0		3,313,090

(4) - 1 回数券運賃

区 間	実績(人)	調整率(%)	見込(年/人)	運賃(円)	金額(円)
大島～神湊 (大人)	31,350.0	0.00%	0	550	17,242,500
大島～神湊 (小人)	0.0	#DIV/0!	0	2,750	0
計	31,350.0	0.00%	0		17,242,500

(5) - 1 貸切運賃

実績	調整率(%)	見込	泊～鐘崎(時間内2便)
607,600	0.00%	0	

2. 手荷物運賃

実 績	調整率(%)	見 込
1,543,630	0.00%	0

3. 小荷物運賃

実 績	調整率(%)	見 込
2,668,400	0.00%	0

4. 自動車運送運賃

実 績	調整率(%)	見 込
40,345,950	0.00%	0

5. 貨物運賃

実 績	調整率(%)	見 込
3,954,460	0.00%	0

6. 郵便航送料

実 績	調整率(%)	見 込
1,542,540	0.00%	0

7. 雑収入

実 績	調整率(%)	見 込
781,974	0.00%	0

B 営 業 収 益

1. 航路付属施設収入

実績	調整率(%)	見込	待合所電話使用料
256,510	0.00%	0	

2. 雑収入

実 績	調整率(%)	見 込
459,905	0.00%	0

1	146,689,344
A	145,972,929

1	95,135,975
(1)	65,708,575

(2)	8,264,210
-----	-----------

(3)	3,313,090
-----	-----------

(4)	17,242,500
-----	------------

(5)	607,600
-----	---------

2	1,543,630
---	-----------

3	2,668,400
---	-----------

4	40,345,950
---	------------

5	3,954,460
---	-----------

6	1,542,540
---	-----------

7	781,974
---	---------

B	716,415
---	---------

1	256,510
---	---------

2	459,905
---	---------

金額仮据え置き

人数割り振りは仮設定のまま
学校関係引率者等

11枚刷り

別紙

航 路 損 益 見 込 資 料 (地島航路)

平成23年見込

1. 収益

A 運 航 収 益(旅客運賃+貨物運賃+雑収入)

1. 旅客運賃

(1) - 1 普通運賃

区 間	実績(人)	調整率(%)	見込(年/人)	運賃(円)	金額(円)
白浜～泊	466	0.00%	0	160	74,560
白浜～神湊	20,489	0.00%	0	390	7,990,710
白浜～神湊(往)	6,869	0.00%	0	340	2,335,460
泊～神湊	24,307	0.00%	0	360	8,750,520
泊～神湊(往)	6,424	0.00%	0	315	2,023,560
計	58,555	0.00%	0		21,174,810

1	25,783,409
A	25,774,899

1	23,441,705
(1)	21,174,810

(2) - 1 定期運賃

区 間	区 分	実績(枚)	調整率(%)	見込(年/枚)	運賃(円)	金額(円)
白浜～神湊	学生	40	0.00%	0	8,640	345,600
泊～神湊	"	17	0.00%	0	7,680	130,560
白浜～神湊	一般	5	0.00%	0	12,960	64,800
泊～神湊	"	118	0.00%	0	11,520	1,359,360
計		180		0		1,900,320

(2)	1,900,320
-----	-----------

金額仮据え置き

(3) - 1 団体運賃

区 間	実績(人)	調整率(%)	見込(年/人)	運賃(円)	金額(円)
白浜～神湊	529.0	0.00%	0	390円の1割引	185,679
泊～神湊	517.0	0.00%	0	360円の2割引	148,896
計	1,046.0	0.00%	0		334,575

(3)	334,575
-----	---------

小学校関係

(4) - 1 貸切運賃

実績	調整率(%)	見込	泊～鐘崎(時間内2便)
32,000	100.00%	32,000	

(4)	32,000
-----	--------

2. 手荷物運賃

実 績	調整率(%)	見 込
1,040,150	0.00%	0

2	1,040,150
---	-----------

3. 小荷物運賃

実 績	調整率(%)	見 込
58,900	0.00%	0

3	58,900
---	--------

4. 自動車運送運賃

実 績	調整率(%)	見 込
0	#DIV/0!	0

4	0
---	---

5. 貨物運賃

実 績	調整率(%)	見 込
1,039,800	0.00%	0

5	1,039,800
---	-----------

6. 郵便航送料

実 績	調整率(%)	見 込
194,344	0.00%	0

6	194,344
---	---------

B 営 業 収 益

B	8,510
---	-------

1. 航路付属施設収入

実績	調整率(%)	見込	待合所電話使用料
8,510	0.00%	0	

1	8,510
---	-------

2 渡船事業における割引サービスについて

1. 宗像市での現在の割引状況とその収入内訳

大島航路においては、往復割引（島民のみ）、定期割引、団体割引、回数券割引があり、地島航路においては、往復割引（島民のみ）、定期割引、団体割引がある。

旅客運賃収入総額のうち、各割引による収入の内訳は以下の通りとなる。

(大島航路)			(地島航路)	
収入内訳	金額	割合	金額	割合
普通運賃	48,853,530	55.5%	15,228,840	71.3%
往復割引運賃	11,376,000	12.9%	3,895,990	18.2%
定期割引運賃	8,263,440	9.4%	1,900,320	8.9%
団体割引運賃	3,011,910	3.4%	303,748	1.4%
回数券割引運賃	15,988,500	18.1%	0	0.0%
貸切運賃	607,600	0.7%	32,000	0.1%
合計	88,100,980		21,360,898	

大島航路においては、普通運賃に次いで、回数券割引による運賃収入が 2 位になっている。一方、地島航路においては、回数券割引がないため、往復割引による運賃収入が 2 位になっている。

2. 全国での割引サービスの現状

社団法人日本旅客船協会 HP 上の会員リストより、401 社分の情報を収集・整理し、割引の種類と事業者数は以下のような結果となった。（割引率の部分は今回の調査で追記）

割引の種類	事業者数	導入割合	割引率	備考
①団体割引	350 社	87.3%	10～30%	
②その他	260 社	64.8%		身障者割引、シルバー割引、Web クーポン等
③往復割引	129 社	32.2%	10%程度	
④回数券割引	82 社	20.4%	10%程度	
⑤学生割引	77 社	19.2%	20%程度	
⑥インターネット割引	23 社	5.7%	10%程度	
⑦1 日乗船券	0 社	0%		

最も使用されているのは「団体割引」で 9 割近い事業者が採用している。

「その他」に次いで、「往復割引」「回数券割引」も基本サービスとして提供する事業者は多い。

3. 宗像市で今後適用が考えられる割引サービスについて

(1) 割引の基本方針

以下の3点を基本方針と想定する。

- ①割引によって新規の乗船客（観光客等）が獲得できるような内容とする。
- ②リピーターも含めて乗船客が増加するような割引内容とする。
- ③島内の各種施設等にとって効果的な割引内容とする。

(2) 割引のターゲットと割引サービスの種類

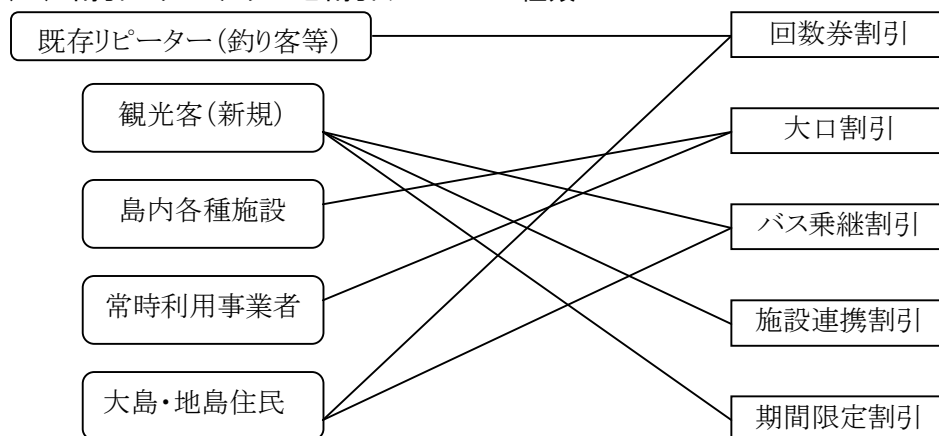


図 ターゲットと割引サービス（案）の関係性

(3) 具体的な割引サービス（案）

①ベースとなる割引としての「回数券割引」「定期割引」

リピーターに対応するための1つの方策として、現在地島にはない「回数券割引」は有効な手法であり、地島での採用を検討する。

なお、回数券導入にあたって、一般への周知を目的として、回数券のネーミングを公募することなども考えられる。

＜具体的な割引案＞

白浜～神湊	$390 \text{ 円} \times 10 = 3900 \text{ 円}$	(11枚綴り回数券)	※小人半額
泊～神湊	$360 \text{ 円} \times 10 = 3600 \text{ 円}$	(11枚綴り回数券)	※小人半額
白浜～泊	$160 \text{ 円} \times 10 = 1600 \text{ 円}$	(11枚綴り回数券)	※小人半額

また、地島においては、現在、1ヶ月定期しかないため、大島と同じように2ヶ月、3ヶ月、6ヶ月の定期券を導入することも検討する。

②島内各種施設や常時利用事業者を主なターゲットとした「大口割引」

年間でまとまった数の集客をしたいと考える島内施設（海洋体験施設、宿泊施設等）や、ほぼ毎日のように島に往復している事業者等をメインターゲットとして、例えば、300枚以上といった、まとまった数のチケットを大口割引として販売することも考えられる。

<具体的な割引案>

300枚を1セットとして、通常 300×550 円（大島）＝165,000 円のところを、3割引にして、115,500 円にして販売するなど

（大島航路で6ヶ月の通勤定期でおよそ25%割引になっているため、それよりも高い割引率の設定を考慮する）

③島内住民および既存の外来客に対する「連携型割引サービス」の実施

島内から島外の病院に通院する乗船客等に対し、例えば、「バス乗継割引」（乗船券を見せると、バスの運賃が減額）を行ったり、島外からの利用客に対し、「島内有料施設や体験プログラム等との連携割引」（乗船券を見せると施設利用料や体験料が安くなる）などの割引を行うことにより、リピーターの増加に寄与する可能性があると考えられる。

なお、バス乗継割引検討にあたっては、西鉄バスとの協議が必要となる。

<具体的な割引案>

東郷駅入口～神湊波止場のバス料金が 350 円、往復で 700 円

（例）乗継割引として、乗船券の提示でバス運賃が 100 円引き

④新たな観光客を呼び込むためのイベント時における「期間限定割引」

また、新たな観光客を島に呼び込むためには、既存のイベント（大島七夕祭り、大島納涼花火大会、椿祭りなど）あるいは新規イベント時に限定した「イベント割引チケット」のような期間限定型の割引券を検討することも考えられる。

4. 渡船事業における割引等の参考事例

(1) 連携型割引

名称	チケットの種類	割引率・額	特徴・概要	備考
① 鳥羽市営定期船 「鳥羽丸」(51～64t) 鳥羽～答志島他3島	船・バス乗継割引 ※ハッピーチケット(回数券)	100～200円引き 100円引き	船の定期券提示でバス200円引き、一般乗船客でもバス100円引き 10枚1000円のチケットの利用で100円引き	鳥羽市地域公共交通 会議による
② 商船三井 「さんふらわあ」 (13,654t) 大洗～苫小牧	乗船券の半券提示による割引 「さんふらわあ割引サポート」	103円引(ガソリン) 10%(各種施設)	半券提示で、提携宿泊施設等の割引およびマイカー向けキャンペーン(ガソリン値引き)	

↳ (2) 観光・キャンペーン型割引

名称	チケットの種類	割引率・額	特徴・概要	備考
① 小豆島6航路 「しょうどしま丸」 (990t) 高松～小豆島ほか6航路	復路無料チケット 「小豆島ふねタダ感謝祭2010」	50%(670円～1480円)	提携する宿泊施設に宿泊すると、復路の無料チケットがもらえる	
② 瀬戸内海汽船 「はやしお」(52t) 広島～仙酔島・大三島・大崎下島等	周遊券・パスポート(1日) 「せとうちおさんぽクルーズ」 ※スポーツ交流割引(団体割引)	コースにより 5800～8900円 (割引率不明) 30%	瀬戸内海の魅力ある島々をネットワーク化。現在5つのコースで運行。観光客の周遊・滞在型観光の促進 中四国地方間のスポーツ交流団体を応援	当初は広島県補助事業としてスタート。その後も継続
③ マリックスライン 「クインコーラル」 (約5000t) 鹿児島～沖縄	観光パックスツアー	15%前後(例： 36,700→31,000)	宿泊施設と連携した割引による観光需要の創出(特に大学生・20代の若者)	

（３）期間限定・特定便限定型割引

名称	チケットの種類	割引率・額	特徴・概要	備考
① 猿島航路 「シーフレンド」(19t) 猿島～三笠（横須賀）	期間限定平日割引	16% (1200→1000 円)	猿島来島 100 万人を記念しての乗船料の割引。100 万人感謝祭イベントも開催	
② 羽幌沿海フェリー「おろろん」(489t) 羽幌～焼尻・天売島	夏休み親子割引	30%	夏休みに機関限定した親子を対象とした割引。親・子供（小中学生）ともに対象	
	※宿泊研修団体割引	50%	宿泊研修を目的とした小中高大学生対象	
③ 佐渡汽船 「おおさど丸」(5373t) ほか 新潟～両津	ジェットfoil割引（土日祝日） 乗用車割引	27～50% 35～60%以上	低迷する佐渡観光の立て直しのため実施 社会実験としては高い割引率の効果もあり、利用客が 1 回目 44%増、2 回目 16.3%増の結果を得る	当初は社会実験としてスタート。その後も期間限定で継続
④ 九商フェリー 「フェリーあそ」(697t) ほか 熊本～島原	特割 2 0（1 日 9 便中 4 便） 特割 4 0（1 日 9 便中 1 便）	20% 40%	特定便（乗船客の少ない便等）に乗船する自動車および旅客に対し、片道の運賃を 20～40%割引	

（４）大口割引

名称	チケットの種類	割引率・額	特徴・概要	備考
① タクシーの大口割引についての国交省の通達	適用例として、利用金額に応じて割引率を変える段階的設定、一律設定、利用状態により複数の割引率を設定など	上限 3 0 % ただし、減収割合 1 割以下 (1 割以上は審査)	例えば、昼間（夜間に比べ空車率が高い時間帯）の利用が多い大口ユーザーは割引率を高く設定するなど	

②関東鉄道（バス） の筑波大学に対する割引	定期券大口一括購入割引	94%	教職員で 8400 円、学生で 4200 円（半額大学補助）の年間格安定期券を販売。割引率としてはかなりの高さであるが、売上としては 5000 枚以上を売上げ、4200 万円以上の収入を得る結果となっている。	
--------------------------	-------------	-----	--	--

